

12

夏の「王さま」

今回のおはなし

とんぼ池には、いろいろなとんぼがいます。ぼくがギンヤンマを見つけると、ひなこはわらって、くるくる回りました。

そのとき、ふっとあたりがくらくなつた。

見上げると、高い空に、ひこうきみたいなでっかいとんぼがうかんでいた。

(王さまだ！ オニヤンマだ！)

ぼくが心の中でさげんだとき、

「王さまだ！ オニヤンマ！」

同じことをひなこが言った。

ぼくは、あみをつかんでとんだ。

ぶん、と、ヘリコプターのような音がうでに ったわり、いっしゅん、体がうかんだ気がした。

あみの 中に 王さまがいた。

みどり色の大きな目を ぴかぴか 光らせ、ぼくを見ていた。

とらみたいにりっぱな かたを いからせて、黒い足を がさつと 一回 うごかした。

「……大きいね。鳥みたいに 大きいね。」
ひとり言みたいに ひなこが言った。
「きれいだねえ。たからものみたいにりっぱだね。」



おうちのかたへ 今回のおはなしのわじい

登場人物の心情を考えて読む。
描写された事柄から事物の様子を想像する。

1 上の文しよを 声に出して 読みましよう。

はなまるシール

2 ———は、ぼくが 心の中で さげんだことばです。どのように 読むと よいか 考えて、声に出して 読みましよう。

はなまるシール

3 ||||と ありますが、オニヤンマをつかまえた しゅんかん、ぼくは どのように かんじましたか。

4 ひなこは、つかまえた オニヤンマの 大きさを どのように かんじましたか。

5 ^{はってん} ぼくや ひなこが 見た オニヤンマの 絵を 紙に 書いて みましよう。

はなまるシール

はげましスタンプ

出典 ★ 薫くみこ作 『なつのおうさま』ポプラ社刊より

月

日